筆のしづく

幸徳秋水

青空文庫

一

近日何ぞ傷心の事多きや、緑雨は窮死し、枯川は縲紲の人となる、風日暖にして木々の梢緑なる此頃の景色にも、我は中心転た寂寞の情に堪へず、意強き人は女々しと笑はん、我は到底情を矯むるの力なし。

緑雨は病めりき、左れど彼の死せるは病めるが為めに死せるにはあらず、病を養ふ能はざるが為めに死せるなり、繰返していふ、緑雨の死せるは病ありしが為めにあらず、金なかりしが為めなり。

彼は心やさしく、友に厚かりき、左れど今の世に処せんには彼は余りに正直なりき、余りに男らしかりき、彼は常に曰へらく、「我は武士の子なり」と、然り彼の気質は余りに武士らしかりき、故に餓えたり。

彼は紅葉君の如く落合直文君の如く、若くば広瀬中佐君の如く、葬式の盛大なることに依りて、其死後を栄せらるゝ程の個人的勢力を有せざりき、又有せんとも願はざりき、彼は文士にして交際家にはあらざりき、去月十六日彼れの知人、駒込の寺に集まりて葬式を挙行すと聞えたり、聊かにても緑雨を知れりと信ずる我は行くに忍びざりき。

廿一日午後一時、枯川の入獄を送る、日比谷公園を通り抜くれば此処彼処笑語の声うれしげ

なり、裁判所の石階を上れば一種陰鬱の気忽ち人を襲ふ、垣一重、路一筋の隔ては、直ちに天堂と地獄の差なり。

構内監倉の入口にて、枯川は、送れる人々を見返りて、「こゝからは本人だけしか入れないよ」と呵々大笑して、フロツク着たる影は、ツカ〳〵と小暗き廊下に没し去れり、皆相顧みて語なし、彼の手には、「エンサイクロペヂヤ、ヲブ、ソシアルレフオーム」伝習録其他数巻を携へたりき。

枯川を入獄せしむるは、彼を懲らしめんが為めか、彼を悔ゐしめん為めか、枯川は二ヶ月の禁錮の為めに其説を改むべきか、其筆を折り、其舌を噤むべきか、我は法律を学ばず、法律を知らず、法律の目的、功能なるものに於て甚だ惑ふ。

二ヶ月の月日、娑婆には短かけれど、囚獄には長し、其間の読書が如何に彼の智識を増益すべきぞ、其間の思索が如何に彼の精神を修練すべきぞ、将た自由なき「理想郷」の観察が、如何に彼のキユリオシチーを満足せしむべきぞ、彼れが二ヶ月の後ちに持還るべき土産は確かに刮目すべき価値あらん、我は彼を傷めども亦た彼を羨まざるにもあらず。

裁判所の建物の宏壮偉大なるは、吾人平民として見るたび毎に驚嘆せしむ、西川生曰く「此建物が労働者の長屋だつたらナア」と、左なり斯る建物が労働者の長屋となる世なりせば、社会は如何に幸福なるべきぞや、此処の広庭に一株の晩桜咲乱れたるあり、秋水の妻は曰く「こんな処でも花は咲て居ます」と、げに自然は虚心なり、人の楽しむと否とに関せず、依然とし

て美なり。

二十二日の朝より平民社楼上に枯川が哄笑の声を聞かず、淋しき哉、左れど多忙なる編輯は、此淋しさの真趣をすら味ふを許さゞるを如何にせん。

上に掲ぐるは緑雨の肖像なり、去三十四年小田原養痾中の写真なり、眉目の間、如何に天才のきらめけるかを見よ、されど今は亡し。

二

領土大なるの国必しも幸福に非ず、兵力強きの国必しも平和に非ず、国家組織の理想は、民人をして衣食足らしめ、礼節を知らしめ、自由ならしめ、平等ならしめ、安寧ならしむるに在り、今の世に瑞西の如きは殆と是に近し。

圧制、貧困、罪悪を以て充填されたる欧洲列国中に一個の自由、平等、平和なる瑞西を見るは、恰も渺漫たる砂漠の中に、緑陰清泉のオーシスを見るが如し、万国の社会主義者が夢寐に之を憧憬して、足一たび欧洲に入る者、皆な此処を以て慰安、休息の地となさゞる者なき、宜なり。

安部磯雄君の『地上の理想国、瑞西』の一書は、瑞西の政治、経済、教育、社会の状態を説述して其詳を極むる者、稿既に脱して今印刷者の手に在り、其発行は応さに数日の内に在る可

し、吾人は同志諸君と共に此書に依りて平生の渇想を慰するを得ん哉、嗚呼日本の明媚なる山光水色は決して瑞西のそれに譲るなし、而して其民をして亦瑞西の如くならしむるもの、果して誰が任ぞや。

五月三日天気晴朗なり、此晨歩して日比谷公園に至れば、数千株の杜鵑花、昨夜の雨に洗はれて、見渡す限り紅氈を敷ける如く、目さむる心地す、楽天の「日は血珠を射て将に地に滴らんとし、風は焔火を翻へして人を焼かんと欲す」の句、何ぞ其妙なるや、恨む枯川をして此美観を貪看せしめ得ざることを。

人獄に入るの時、書は世に出たり、枯川が訳せるゾラの『労働問題』てふ一小説、盛装して机上に在り、我が此書に於て尤も喜ふ所は、所謂「自由恋愛」の理想が、大胆に且つ清高に描き尽されたるに在り。

所謂「戦争物」なる出版物の売行、近日大に減じ、出版者中、非常の窮境に陥る者ありといふ、吾人は戦争を金儲けの具に供するを悪めり、されど其失敗の甚しきを見ては聊か気の毒の感なくんばあらず、彼等も亦徒らに自由競争制度の犠牲となれる也。

平民新聞は初めより、俄かに大に売れざりき、故に俄かに大に減することなし、俄かに大に利することなかりき、故に俄かに大に損することなし、平民新聞は唯だ多数同志の確かなる信念と固き覚悟に依て援助され維持されつゝあり。

吾人は戦争熱の高低如何に関せず、世上の景気の如何に関せず、依然として主義の為めに尽

し得ることを喜ぶ、刻一刻に吾人の運動の歩を進め得ることを喜ぶ。

三

両月程前に枯川の一家と、雑司ヶ谷に、雀焼食ひに行つた其汽車で、去六日巣鴨の獄へ志した、花は青葉と変りて、見渡す限りの麦畑の波を吹く風誠に心持が善かつた、池袋駅に着いて、アレかと眺める赤煉瓦は先づ無限の感慨を惹く。

仏国の革命党が壊したバスチールの牢獄は、こんなでは無かつたらうか、モントクリス伯の捕へられたデーフの要塞は、こんなでは無かつたらうか、数十町につゞく高塀の厳めしさ、四方に聳つ高櫓楼の恐ろしさ宛がら天魔の怒りて立てる如く、途行く人を睥睨して居る。

桃太郎の画本に在る鬼ヶ島の城門のやうな鉄扉を入りて、控室に来れば多くの婦人が待て居る、「私はやつと六年目に面会に来ました」といふ労働者の妻らしきが、貧にやつれて憐れなるがあれば、「宿が此処へ来るやうになつたのは、丁度此子が漸と立つ時分でした」と、十歳位ひの娘の頭を撫で居る商家の女房らしきがある、嗚呼世に十年二十年の間人間の自由を奪はねばならぬ程の罪悪とは、果してドンな罪悪であらうか、我等には殆ど想像が出来がたい。

若し今の軍隊と監獄とに使ふだけの費用が初めより教育と衛生と生産業に投し尽されて、其途を得たならば確かに今の刑法なるものは不必要となると、我等は信ずる。

刺を通じて二時間待つて枯川に面会した、頬に少しく痩は見ゆるやうだが、夫れは初めの程、飯が何分マズくて十分食へなかつた故らしい、此節はモウ馴れて仕舞つて、健康に障りはない、仕事はない、短い間だから、読めるだけ読むつもり、書物は同時に二冊しか許されない、先月の平民社の会計は困つたらう、諸君に宜しく言つてくれとの話しで、相変らず元気であつた、二十五分ばかり、用談をして辞し帰つた、帰りの汽車は、何となく不愉快で、此夜は枯川の夢ばかり見た。

平民社の出版の方は、幸ひに着々歩を進めて来た、『百年後の新社会』は既に再版に着手して、『社会主義入門』も大部分は売れた、新に発行した『火の柱』も既に続々注文がある、商売としては元より言ふに足らぬのであるが、兎に角今の激烈なる戦争熱でも、決して日本の社会主義的思想を焼き尽し得ないことを証する者ではないか。

本月中に出版の手筈になつて居るのは、安部君の『瑞西』の外に石川生の『消費組合の話』である、消費組合が労働者の救済に於て、極めて有功で、殊に今日の如き不景気の時に於て極めて急要なることは、石川生が本号の論文に記せし如くである、我等は此書が、今日憂世の諸君子の為めに多大な参考となるを疑はぬのである。

去八日、戦捷祝賀の行列で、八百八衢、万歳の響、軍歌の声、怒濤狂瀾の押寄するが如き中で、平民社の楼上には静かに婦人講演と社会主義研究会とが開かれた。戸外の怒濤狂瀾は多くの人を殺してそして直ぐに消へ去つた、微なる平民社楼上の会合の結果は決して永遠に消ゆる

ことなくして、却つて多くの人を活さんことを、我等は願ふ。

枯川の入獄に対して、匿名で金品を恵贈せられた諸君が多い、我等は深く其高情を感謝すると同時に、姓名を知ることを得ぬのは遺憾に堪へぬ、枯川の一家平民社同人に代りて茲で御礼を申上げる。

四

最近着の米国同志の諸新聞は、平民新聞第十九号の露国社会党に与ふる開書の英文を皆一斉に転載して、深き同情を表して居ます、殊に紐育の独逸文「労働新聞」の如きは、第十八号の日本文の方を其儘、写真版で印刷し、其下に独逸文の訳が添へてありました。

英仏独諸国の新聞の来るのは遅いので、未だ分りませんが、此次ぎに着く分には、必ず米国と同様に之を転載して、十分に日本社会党の意思と態度を表明してあることを疑ひません。

同胞を煽動して提灯行列を催すなどは、我等の到底為し得ない所ですが、世界に向つて、日本の真正なる社会真正なる思想を表白し、万国共通の平和幸福に貢献するのは、我等の任とすべき所だと思ひます。故に我等は微力なる平民新聞が、日本の紳士に冷笑せられつゝある間に、漸々世界に認められつゝあるのは尠からぬ愉快を感ずるのです。

片山潜氏の運動で、在米の日本人労働者が着々社会党を組織するに至つたのは、賀すべきで

す、先日はシャトルに出来、今度はオークランドに出来て、白人社会党と提携の運動をして居ます、万国社会党には人種の区別も郷里の区別も宗教の区別もありません、皆な兄弟です、若し社会党が政権を取れば、所謂「黄人禍」の心配などは少しも無くなるのです、是ばかりは主戦論者でも賛成でしやう。

何の運動でも婦人が加盟するやうになれば、必ず成功するとは、西洋人の言葉ですが、殊に仁愛を命とする社会主義の如きは、必ず婦人の力に待たねばなりません、欧米社会党の盛大なのは、婦人社会主義者が与つて力あるのです。

近日の一快報は、札幌の竹内余所次郎氏の夫人と同地の女学生T君Y君等の社会主義の研究、運動に加はられたことです、別項に掲げてある『まるやまの花見』は、其報告です。

妙齢の婦人が、はづかしさ、きまり悪さを忍んで、主義の為めに働かれる様を想へば、我等は深き感謝を表せねばなりません、我等は此人々が、人類同胞に対する大なる愛を発揮して、日本の婦人社会主義の卒先者たる名誉を荷はれることを望みます。

五

廿四日の朝、始めて枯川から手紙が来ました。

其冒頭には「一月一回と限られたる此貴重なる手紙を、僕は今満腹の愉快を以て君に送る、

併し用事以外の事を多言するの自由を持たぬ、只僕身神共に健全、日日清閑、読書に耽る、是だけの事を同人諸君と読者諸君と僕の妻とに御伝へを乞ふ」と書いて、其他は平民社経営に関する意見を示してある。

平民社の経営、是は我等の目下講じつゝある問題です、元より此儘維持することは難事でない、戦争の狂熱最高度に達した時でも、我等は我等の大主義を絶叫するの余地があつた、況んや号外の声は疲れ、戦争物は売れなくなり、戦争の社会に及ぼす影響が明白に多数国民の間に了解せらるゝの今日をやです、一時ドウかと気遣つた売行も、先づ此分では心配もなさそうです。

併し我等は此儘では満足出来ぬ、消極に維持するだけでは満足出来ぬ、積極に其歩を進めねばならぬ、体裁も内容も着々進めて行かねばならぬ、発行部数も増加せねばならぬ、此点は目下計画相談中であるのです、目下は人手が少ないので、是れ以上に直ぐドウするといふことも出来ないのですが、枯川の出獄を機会に、一段の飛躍をしたいと思ふ。

枯川の刑期も半ばを過ぎて、後と三週間となりました、彼は出獄と同時に多少の考案を持て来ることは疑ひないので、我等も夫れまでに出来得るだけの準備をして見る積りです、同志諸君、読者諸君に於ても本紙の体裁、材料、其他主義拡張に就ての良法名案あらば、ドシドシ御教示を願ひたい。

廿四日の大雨の中を、蓑笠の百姓が数名本社に這入つて来るので、出て見ると後には巡査が

付添ふて居ました、是は鉱毒被害民が惨状を訴へに来たのです、先日来二百余名の被害民が上京を企てたが、皆な警官に追散らされたさうです。

鉱毒被害民は今や殆ど其生活の権利をすらも失つて居ます、そして之を訴ふるの手段も杜かれて仕舞つたのです、彼等は法律と警察とに保護せられずに却つて之が為めに苦しんで居るやうです、別項西川生の廃村の記を御覧下さい。

併し警官とても何も彼等をイヂめる積りでは無論ない、雨中を蓑笠で行く百姓の姿も憐れなら、上官の命令で夫れを警護して行く巡査も気の毒である。

先日提灯行列の惨事の翌夜、晩餐後の散歩に西川生石川生と三人で馬場先門へ行て見ると、十数人の巡査が同所を警護してヤカましく言て居る、往来の人々は大分彼等を罵つて居たやうだが、我等は同情に堪へなかつた、事ある毎に非番でも呼出されて終日終夜、悪く言はれながら命がけで働らく巡査ほど憐れ者は無いのです。

無智無教育の労働者よりも、智識教育ある労働者は、其苦痛と不平も一層甚しかるべき筈です、我は将来巡査と小学教師中に、多数の社会主義者を出すことを確信します。

平民新聞其他日本社会主義者の言論が、外国へ反響すると言て、御用紙が神経を痛めるのは滑稽です、先日も「国民新聞」が喧しく言て居ましたが、又々「日々新聞」が鹿爪らしいことを書て居ます。

日本の政治家と資本家は、日本の正義人道とやらを外国に紹介する筈で、大枚の金を使つて

末松君を洋行させ、金子君を洋行させ、外国記者を御馳走し、今度は各宗僧までも集めて「中外に宣揚した」ではないか、是迄にしたら外国でも嘸や彼等の「正義人道」に感服仕つて居るでしやうから、微々たる平民新聞の論説位ひを気にするにも及ばぬ筈です。

（二十五号、二十六号、二十七号、二十八号、二十九号、明治三十七年五月一日、八日、十五日、二十二日、二十九日、署名一～三は一記者、四～五は編輯子）

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆　別巻95　明治」作品社
　　1999（平成11）年1月25日第1刷発行
底本の親本：「幸徳秋水全集　第五巻」明治文献
　　1968（昭和43）年9月
※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ヶ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。
入力：ふろっぎぃ
校正：しだひろし
2006年2月16日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

筆のしづく

幸徳秋水

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/